Ｓ－０１，０２

粉砕圧送式水洗トイレ（仮設用レンタル）

取扱説明書

■ このたびは、「スルー」をお求めいただき、誠にありがとうございました。
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。
また、水洗便器の取扱説明書につきましても同様にお願いいたします。

株式会社 ハピネス

もくじ

スルーの特徴 ―――― 2

仕様 ―――― 3

各部の名称 ―――― 4

安全上のご注意 ―――― 5

使用上のお願い ―――― 6

使用前の確認 ―――― 6

使用方法 ―――― 7

日常の点検・手入れ ―――― 7

保管（長期間使用しない場合） ―――― 7

故障・異常の見分け方と処置方法 ―――― 8～9

テクニカルガイド ―――― 10

施工について（施工業者様へ） ―――― 11～14

レンタルサポート ―――― 15

返却時のお願い ―――― 15

スルーの特徴

粉砕圧送式水洗トイレ「スルー」は快適なリフォーム生活を可能にします

屋内設置で安全・快適

従来の仮設トイレとは異なり、屋内に設置できるので、冬季や夜間でも安全かつ快適にご使用いただけます。

どこでも設置可能

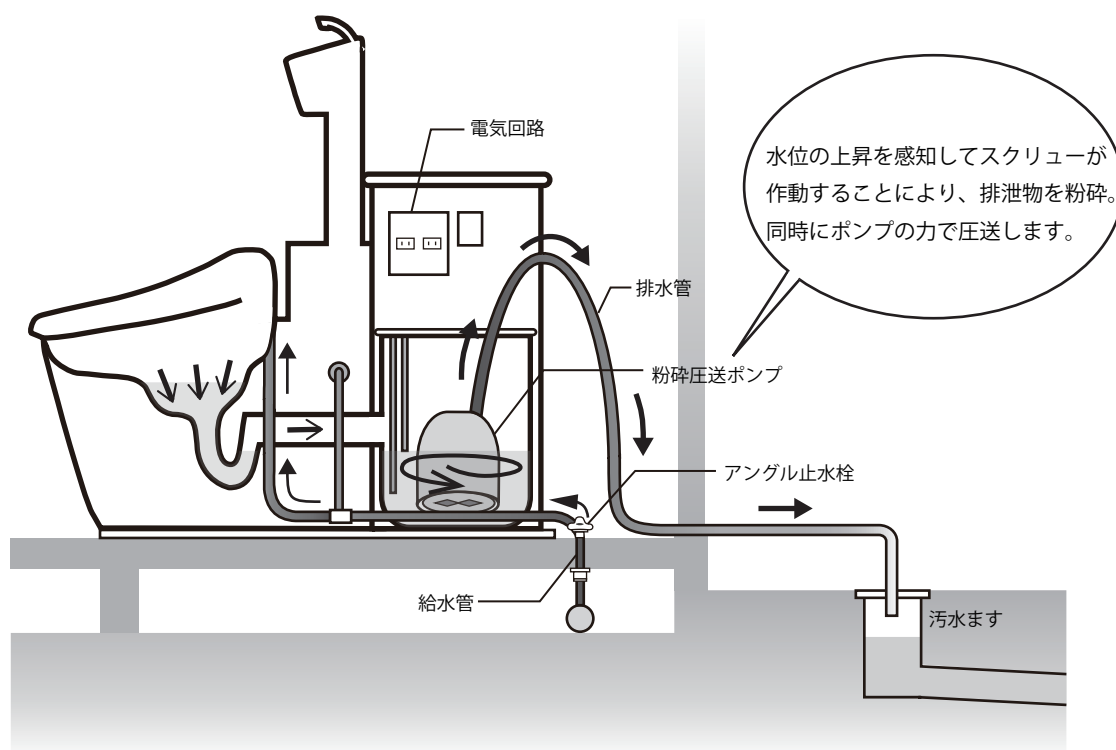
粉砕圧送装置による強制排水で、給排水管の位置によらず設置できます。
※上下水道又は浄化槽が整備されている地域に限る。

水洗で清潔処理

嫌な臭いの発生がなく、いつでも清潔で快適にご使用いただけます。

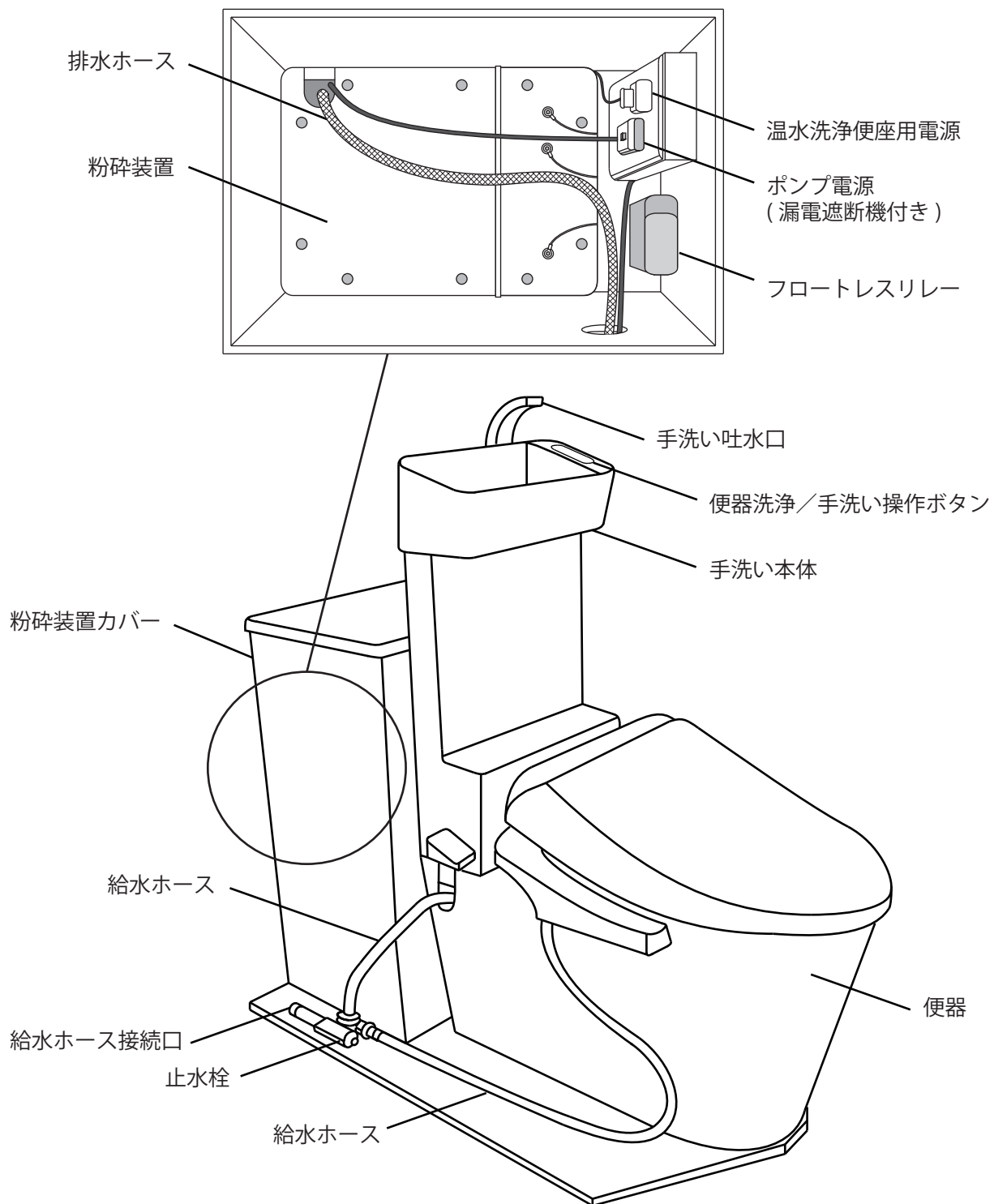
暖房便座で快適

腰掛けた時のヒヤリ感がなく、ご自宅のトイレと同じようにご使用いただけます。

▼ スルーの給排水の仕組み

本製品は、公益財団法人テクノエイド協会の「福祉用具情報システム（TAIS）」に福祉用具として登録されています。
【用具コード：01474-000001（手すり付き） 01474-000002（手すりなし）】

仕様

項目		内容
便器	電源	AC100V 50／60Hz
	最大消費電力	15W（寒冷地は 42W）
	電源コード長さ	1.0m
	洗浄方式	ターントラップ式
	洗浄水量	大：4.6L／回 小：3.0L／回（流動時 0.2MPa 時） ※当製品では十分な粉砕を行うため 大：8.0L／回に設定しています。
	凍結防止ヒーター	AC100V 50／60Hz 26.4W（電源コード有効長 約 1.0m）［寒冷地仕様のみ］
	保護装置	バイメタルスイッチ、温度ヒューズ［寒冷地仕様のみ］
	手洗い吐水量	約 2L／分
	リモコン（オプション）	ワイヤレスリモコン（単4形乾電池 2 個）
	使用水圧範囲	0.049MPa（流動時）～ 0.735MPa（静止時）
	給水温度範囲	0℃～ 35℃
	周囲使用温度範囲	0℃～ 40℃
	寸法 幅 × 奥行 × 高さ	380mm×700mm×1065mm
	製品質量	17.6kg
本体	寸法 幅 × 奥行 × 高さ	630mm×1065mm×1075mm（手すり取付品：630mm×1190mm×1075mm）
	便座高さ	419mm
	質量	44kg（便器含む）
手すり	径	Φ35mm
	長さ	1190mm
	取り付け高さ（上端）	700mm
	材質	タモ集成材
	質量	1.5kg／本

各部の名称

※便座及び便座の各部詳細の名称は、それぞれ同梱の説明書を参照してください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	危険	「死亡や重症を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
	注意	「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

禁止

● 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

● 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。
火災・感電の原因になります。

● サービス技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
火災・感電の原因や、異常動作でケガをすることがあります。

● 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 以外での使用はしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

必ず守る

● 本製品は必ず屋内に設置してください。
故障・火災・感電の原因になります。

● いずれかの理由により便器内の汚水が排出されない場合、洗浄を中止してください。
洗浄を続けると、便器より汚水が溢れ出ます。

● 給排水ホースは、必ず接続する上下水道の水圧以上の耐圧を有する工業用ホースをご使用ください。
破裂や水漏れの恐れがあります。

● 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 電源プラグに付着した埃は定期的に取り除いてください。
絶縁不良により火災の原因になります。

● アースを確実に取り付けてください。
故障や、漏電のときに感電する恐れがあります。

⚠ 注意

禁止

● 排泄物やトイレットペーパー以外のものは流さないでください。
粉砕装置の故障の原因となります。

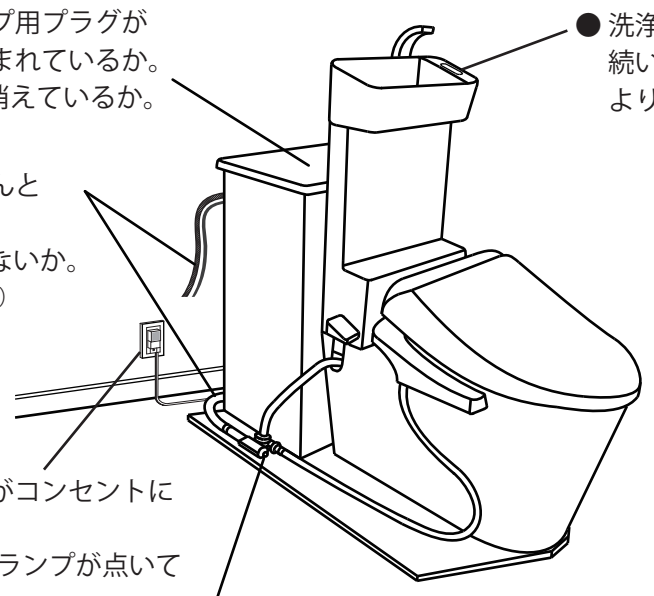
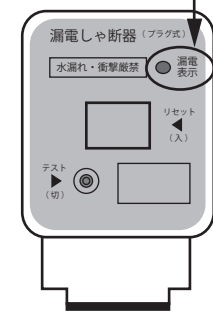
● 柄付き・色つきのトイレットペーパーは使用しないでください。
プリント製品は溶けにくく、詰まりの原因となります。

● 手すりに腰掛けたり、ベッドからの起き上がり等に使用しないでください（手すり付き製品のみ）。
破損してケガをするおそれがあります。

必ず守る

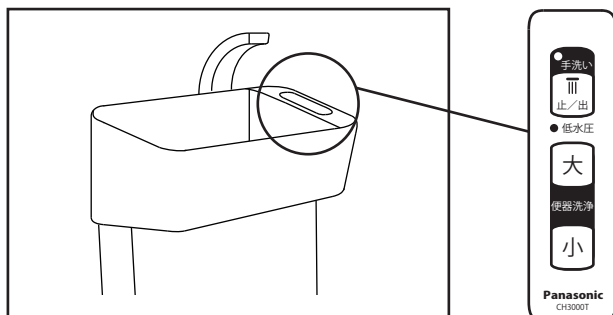
● 便器洗浄の際は「大」のみ使用してください。
「小」では圧送が不十分で、詰まりの原因になります。

● メンテナンスや故障の際は、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると感電・火災・ケガの原因となります。

● 移動させる場合には、成人２人以上で行ってください。
無理に移動を行うと、ケガの原因となります。

使用上のお願い （故障を起こさないために、お守りください）

- 凍結の恐れがある場合は、凍結による機器の破損を防ぐために、凍結防止の処置を実施してください。
- 雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  事故や故障につながる場合があります。
- 給排水ホースの上に物を乗せたり、鋭角に折り曲げないでください。
  ホースの破損・水漏れ・故障の原因になる場合があります。
- 粉砕装置カバーの上に乗ったり、重たいものを乗せないでください。
  破損・故障・ケガの原因になる場合があります。
- 便器には、汚物やトイレットペーパー以外のものを流さないでください。
  破損・溢れの原因になる場合があります。
  万が一流してしまった場合は、粉砕装置のフタを外し、異物を除去してください。
  （10 ページ：粉砕装置フタの外し方 をご参照ください。）
- 便器洗浄水量は変更しないでください。
  安定的に圧送するため、8L に設定しています。水量が少ないと詰まりの原因になる場合があります。

使用前の確認

ベッド再度水洗トイレ「スルー」を使用される前に必ず下記の項目を確認してください。
（便座については、便座の取扱説明書をご覧ください。）

使用方法

● 使用後に便器内を洗浄する場合、
洗浄ボタン「大」を押してください。
水量不足により粉砕装置が作動しないため、
「小」は使用しないでください。

● 粉砕装置が作動中でも、便器洗浄は連続して
使用できます。

● 手洗いボタンを押すと、吐水／止水されます。
（便器洗浄時は、自動的に 7 秒間吐水されます。）

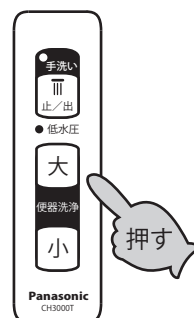
※温水洗浄便座の使用方法については、便座の説明書を参照してください。

日常の点検・手入れ

● 粉砕装置

1 週間に 1 回程度、水のみで便器洗浄を 3 ～ 4 回行ってください。
これにより、粉砕装置内を洗浄することができます。

● 木製ボックス

汚れが付着した場合、雑巾などを使用し汚れを取り除いてください。

※便器・便座の点検／手入れについては、それぞれの説明書を参照してください。

保管（長期間使用しない場合）

何らかの理由により長期間使用しない場合は、万一の故障防止のために以下の操作を行ってください。

1．水のみで便器洗浄を 3 ～ 4 回行い、粉砕装置内の洗浄をします。
（装置内の汚れ具合により、必要回数実施してください。）
2．電源プラグを抜きます。
3．手動式ポンプなどで粉砕装置内の水を汲み出します。
（10 ページ：粉砕装置フタの外し方 をご参照ください。）
4．給水経路上にある全ての止水栓を閉め、給水を止めます。

※便器・便座の保管方法については、それぞれの説明書を参照してください。

異常・故障の見分け方と処置方法

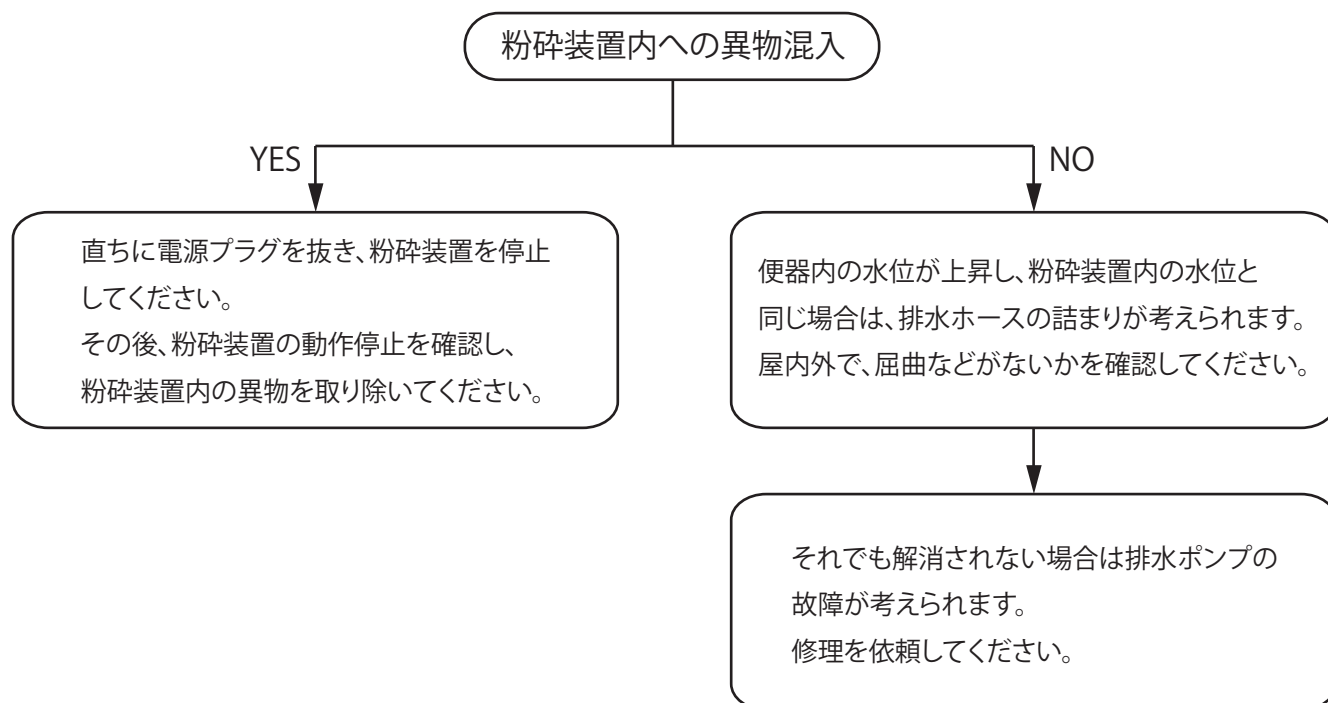
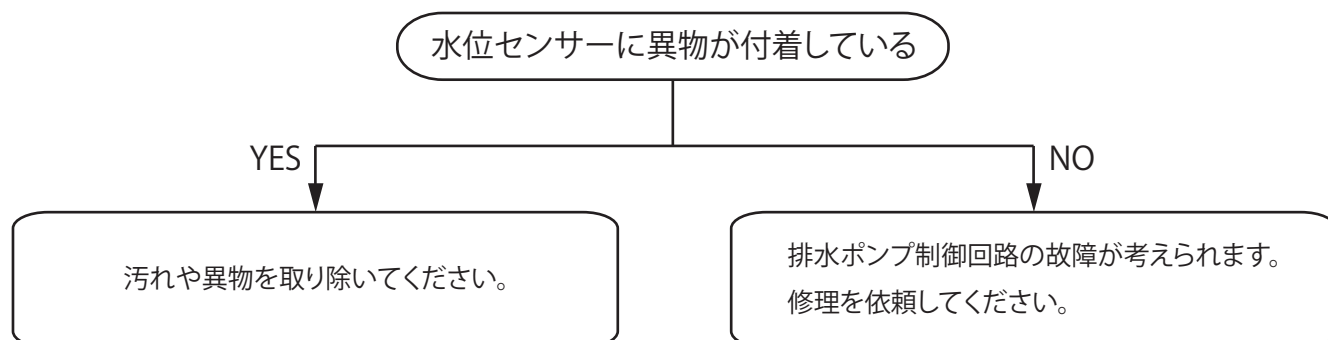
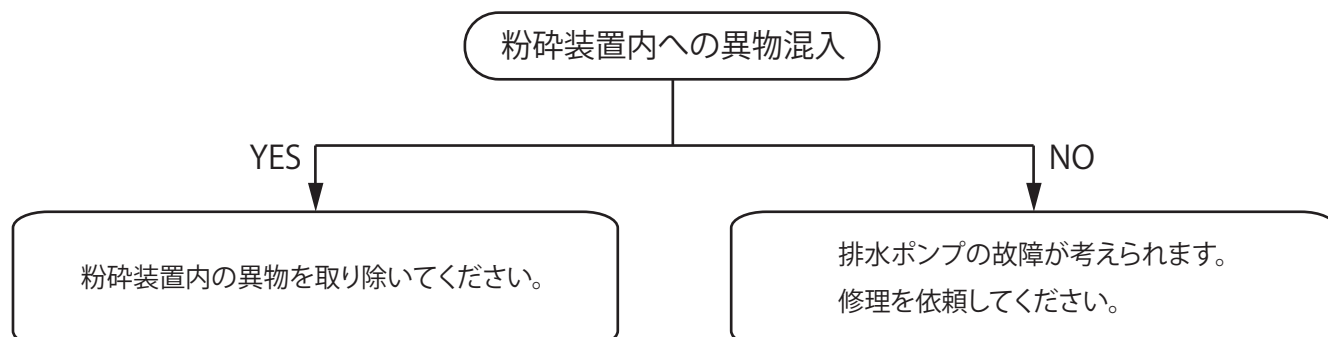
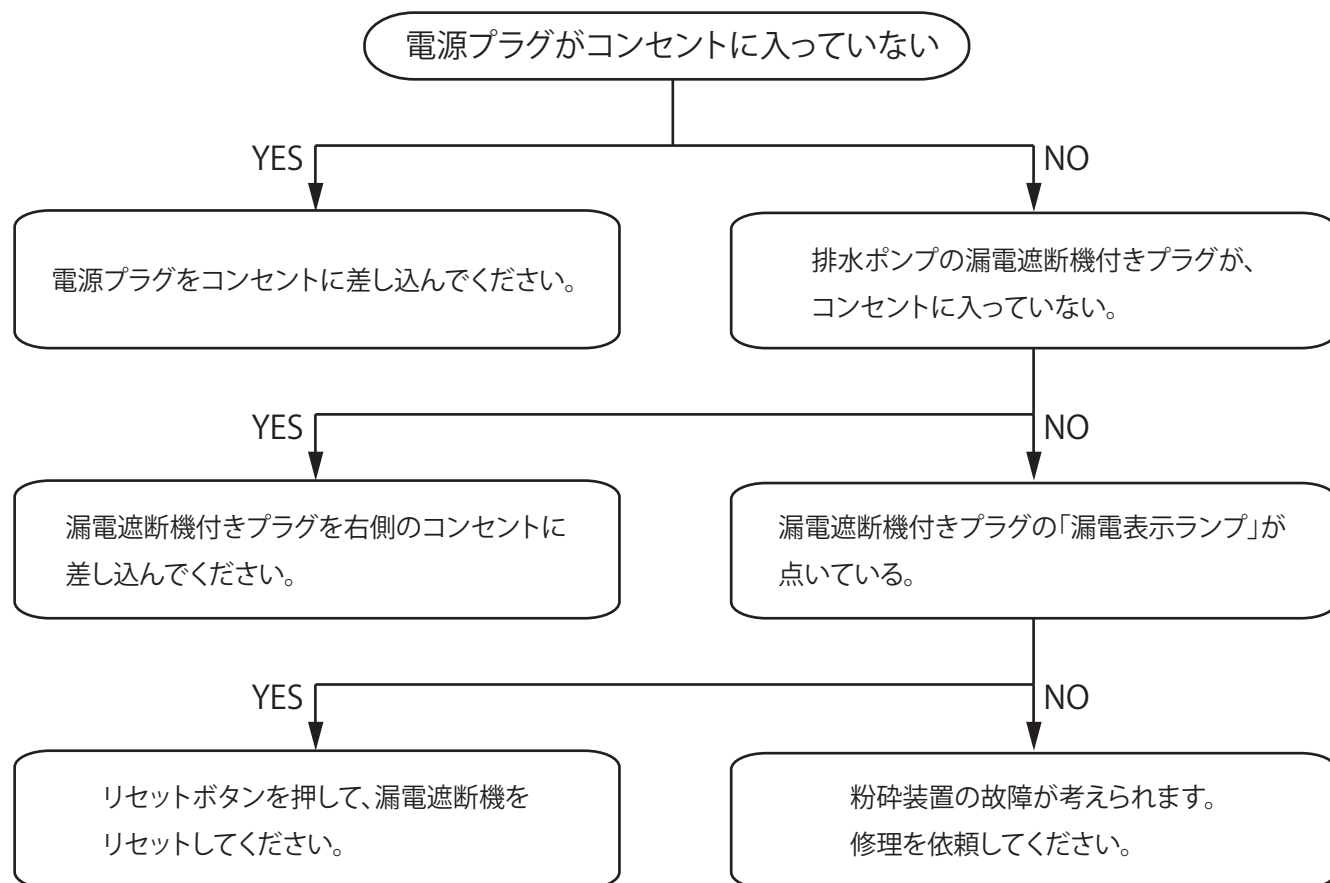
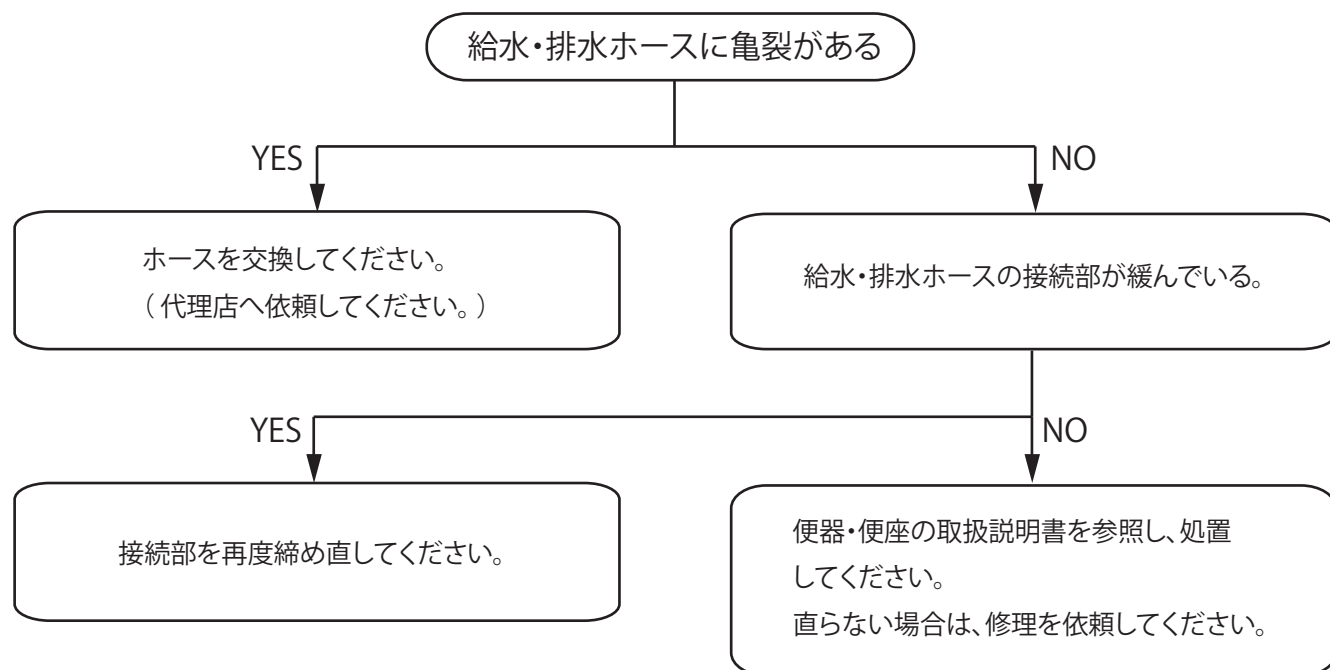
修理を依頼される前に、以下の事項を確認してください。

■ 粉砕装置の動作時間が長くなった

■ 粉砕装置の動作が止まらない

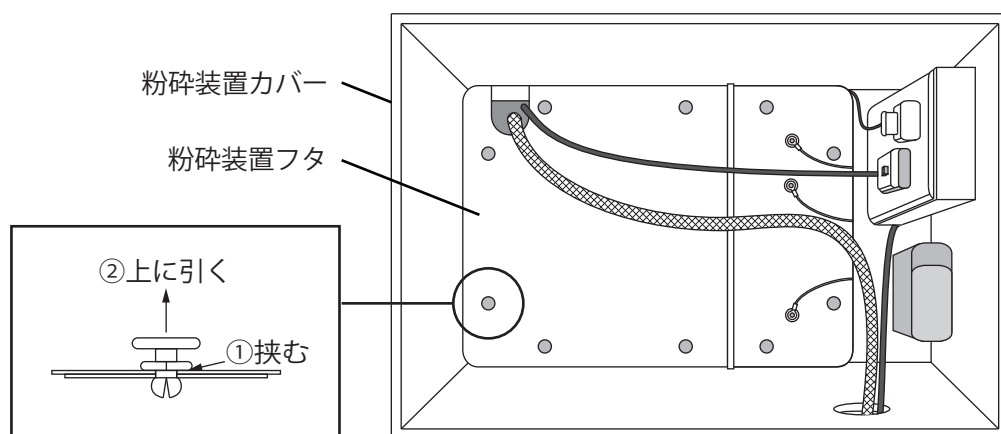
■ 粉砕装置から異音がする

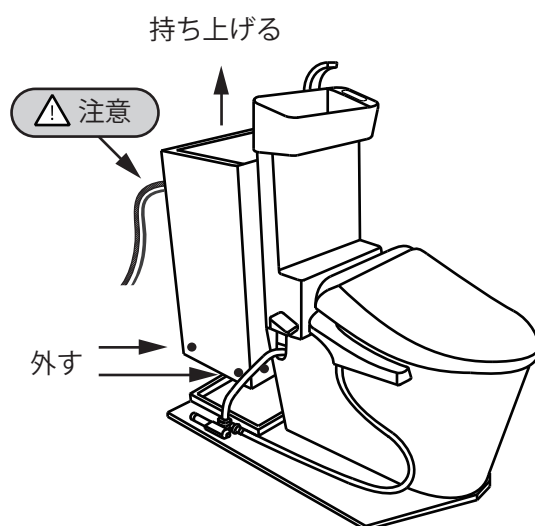
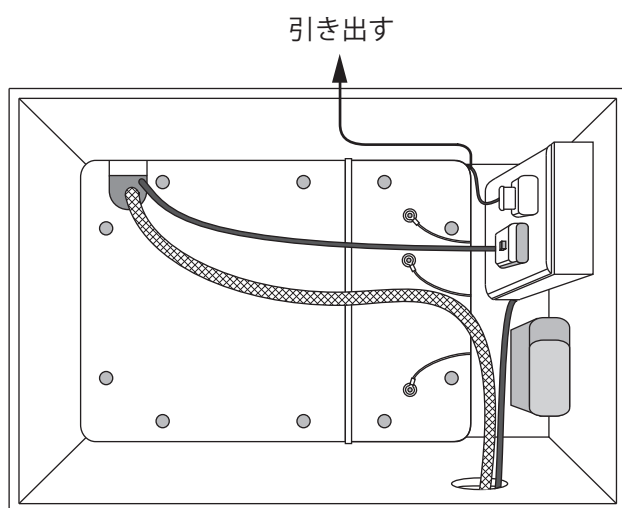
■ 排水装置が作動しない

電源プラグがコンセントに入っていない

- YES → 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- NO → 排水ポンプの漏電遮断機付きプラグが、コンセントに入っていない。
  - YES → 漏電遮断機付きプラグを右側のコンセントに差し込んでください。
  - NO → 漏電遮断機付きプラグの「漏電表示ランプ」が点いている。
    - YES → リセットボタンを押して、漏電遮断機をリセットしてください。
    - NO → 粉砕装置の故障が考えられます。修理を依頼してください。

■ 水漏れがある

テクニカルガイド

⚠ 警告　感電の危険がありますので、作業の前には必ず電源プラグを抜いてください。

■ 粉砕装置 フタの外し方

① 粉砕装置カバー上部のフタ（木製）を外します。
② 粉砕装置フタを止めてあるロックピンを６本緩め、粉砕装置フタを外します。
（マイナスドライバーやニッパー等を使用すると、少ない力で外せます。）

■ 粉砕装置 カバーの外し方

① 粉砕装置カバー上部のフタを外します。
② 温水便座用電源に差さっているプラグを抜き、便器側の穴から引き出します。
③ 粉砕装置カバーを止めているネジ（カバー下部）を外します。
④ 粉砕装置カバーをゆっくり上に持ち上げ、外します。
（このとき、背部の穴から出ている排水ホースと電源コードが引っ張られないよう注意してください。）

施工について（施工業者様へ）

・スルーは給水ホースと排水ホースを接続するだけで使用でき、住宅改修を伴う大掛かりな施工を必要としません。
・下水道、浄化槽等の排水設備がなく、水洗式トイレが使用できない場合はご使用になれません。
（別途排水処理を行うことで、使用できる場合もあります。）

■ 排水経路について

⚠ スルーからの排水は、最終的に下水道または浄化槽に合流させます。

1．設置室近傍の、接続可能な汚水管または汚水ますを確認します。

・雑排水専用系統の管路には、合流接続できません。
・横枝管、立て管に合流させる場合は、十分な排水能力の適性を確認します。
・浄化槽に合流する場合、建築用途や処理対象等の適正について自治体、浄水槽メーカーまたは販売業者に確認します。

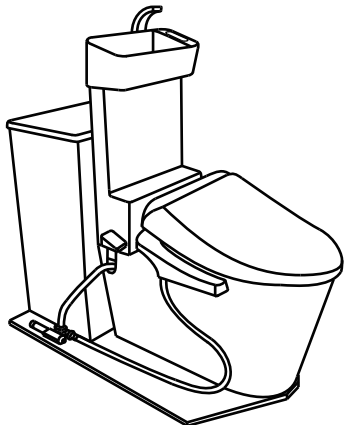
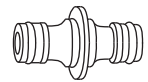
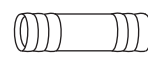
↓

2．スルーの設置室と合流位置までの経路を設定します。

・排水経路は VU25 以上の製品を使用します（ホースの場合は内径 15mm 以上）。

施工上の留意点

・圧送できる距離は最長 20m です（0 勾配のとき）。
圧送距離がそれ以上の場合は、1/50 以上の勾配をとります。
・排水ホースの敷設経路は、管の清掃や交換が可能な場所に限ります。
・冬季凍結のおそれがある地域では、排水ホースや排水管は、1/50 以上の勾配をとるか、ヒーター設置等の凍結防止措置を施します。

↓

3．室内のホース取り出し箇所を設定します。

・床もしくは壁貫通のいずれかで施工します。
短期レンタルの場合は、屋外への開口部を利用した施工も可能です。

■ 給水経路について

1．設置室近傍の上水、または井戸水の給水管を確認します。

・給水圧力を確認します。
　分岐する際には、他の器具の吐水状態を確認してください。

↓

2．スルーの設置室と分岐位置までの経路を設定します。

・ 給水には、耐圧ホース又は水道用管材を使用します。

施工上の留意点

・冬季凍結のおそれがある地域では、断熱、ヒーター設置等の凍結防止措置を施します。

↓

3．室内のホース取り出し箇所を設定します。

・床もしくは壁貫通のいずれかで施工します（設置室内に給水経路がある場合を除く）。
　短期レンタルの場合は、屋外への開口部を利用した施工も可能です。

■ スルーの付属品について（施工時の必要部材）

スルー本体（粉砕圧送装置付属）	1個

給排水ホース	各1本 (10m)

※ 散水用耐圧ホース（内径 15mm）

立締めバンド	2個

ホーセンド	4個

ネジ口金	2個

ニップル	1個

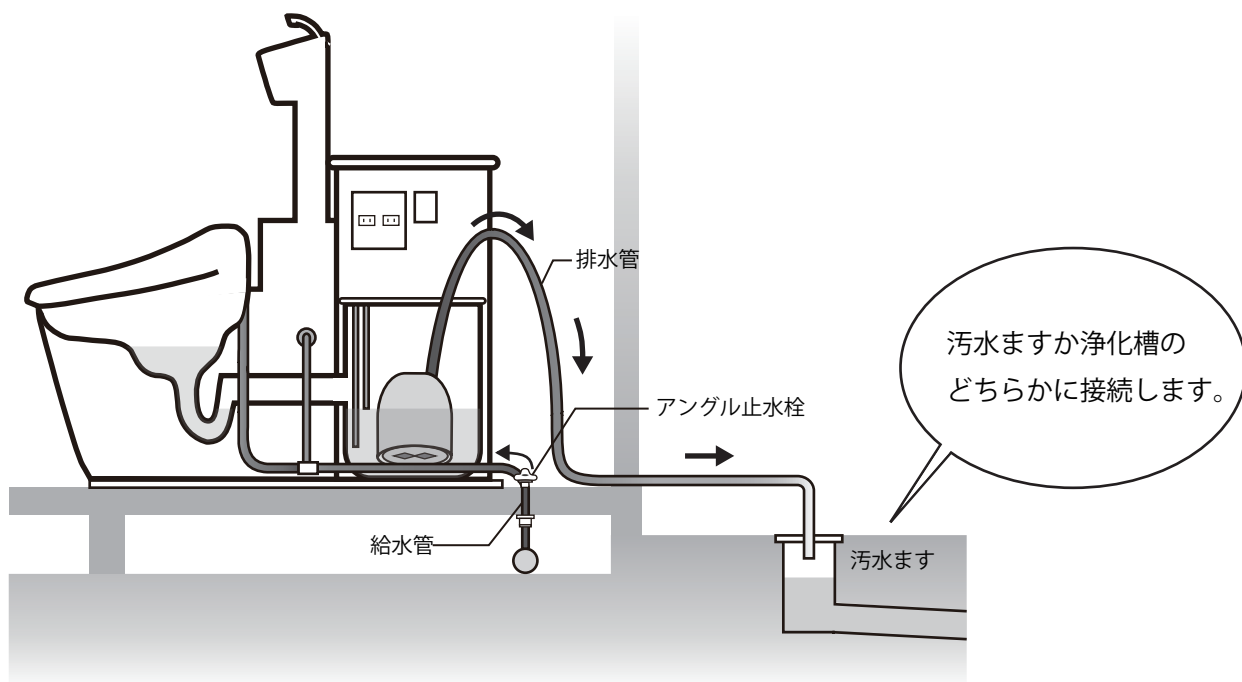
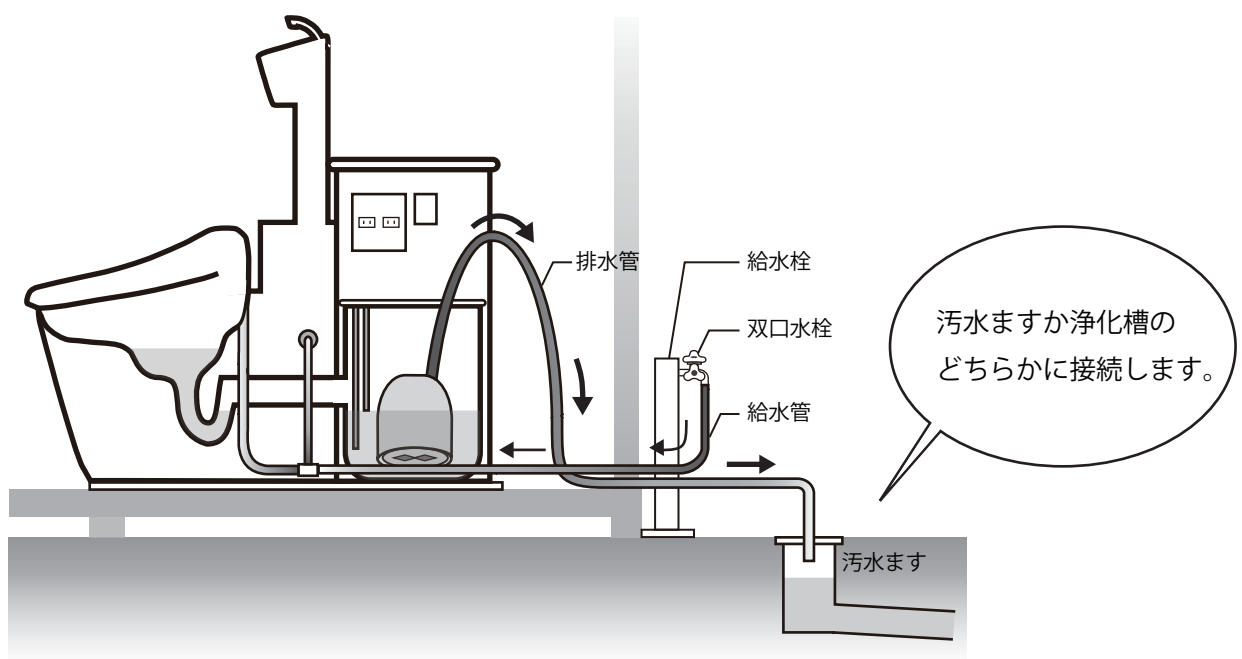
ホース接ぎ	1個

・給排水ホースは各 10m のため、それ以上必要な場合はそれぞれ延長してください。
・ホースのみで給排水する場合、冬季凍結のおそれがある地域では、別途断熱材やヒーター等を準備してください。
・その他、必要に応じて各種の部材を準備してください。
※ 屋内外の給水栓から給水する場合は、双口水栓が必要です。

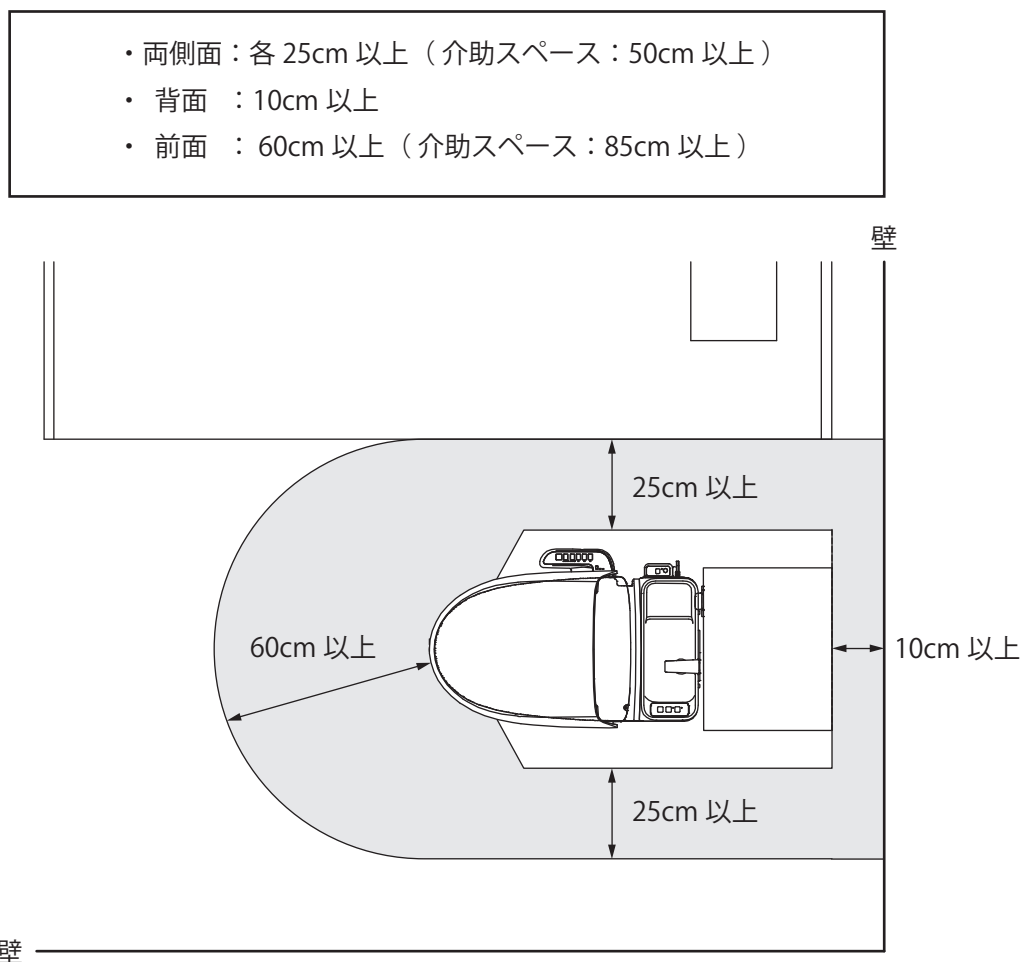
■設置について

⚠ 注意　設置にあたっては、給排水設備基準に基づいて施工してください。

● 設置方法については、以下の二例を推奨します。

① 最寄りの床下給水管より分岐し、屋外の排水系統へ排水する。

② 屋外（又は屋内）の給水栓より給水し、屋外の排水系統へ排水する。

■ 居室内での配置について

● ご使用にあたり、製品と周辺の必要スペースを確保してください。
居室の出入り、ベッドへのアプローチ、介助スペース、車椅子利用などを考慮し、位置を決定します。

・両側面：各 25cm 以上（介助スペース：50cm 以上）
・ 背面 ：10cm 以上
・ 前面 ： 60cm 以上（介助スペース：85cm 以上）

※ 移動可能範囲は、室内のホースの長さです。
給排水ホースの室内取り出し口を設ける際は、なるべく製品の付近に設けてください。
施工にあたりホース長を延長する場合は、移動の可能性を考慮して必要長さを決定してください。

■ 施工サポート

● 施工にあたり不明な点がございましたら、㈱ ハピネス（TEL：0766-54-6114）までご連絡ください。

レンタルサポート

■ 保証について

● 製品の故障による交換は無償で行いますが、次のような原因による故障及び事故につきましては、無償交換／保証の対象になりませんので注意してください。

・ 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷。
・ レンタル使用期間中の取扱場所の移動、落下、引越し、輸送等による故障及び損傷。
・ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、塩害、異常電圧等による故障及び損傷。
・ 車及び船舶に搭載して使用された場合に生じた故障及び損傷。
・ 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。

■ 故障時の対応

● 本書の「異常・故障の見分け方と処置方法」（ 8・9ページ ）の項に従って調べても良くならないときは、施工代理店または、（株）ハピネス にご連絡ください。

● ご連絡いただきたい内容は次のとおりです。

・ 商品名
・ レンタル開始日
・ 故障状況（ できるだけ具体的にご連絡ください。）
・ ご住所・ご氏名・ご連絡先

● その他ご不明な点や修理に関するご相談は ㈱ ハピネス （ TEL：0766-54-6114 ）までご連絡ください。

返却時のお願い

● ７ページ：保管 （ 長期間使用しない場合 ） をご参照のうえ、手順１～４までを実施してください。

● 給水ホースの先端は、付属しているネジ付きキャップ（ 鋼製 ）を取り付けてください。
排水ホースの先端は、ビニール袋などで包んでください。

● 接続部材一式は、製品と併せてご返却ください（ 接着した部材に関しては、返却不要です ）。

株式会社 ハピネス
〒933-0014　富山県高岡市野村 1355-9
TEL：0766-54-6114　FAX：0766-54-6214